

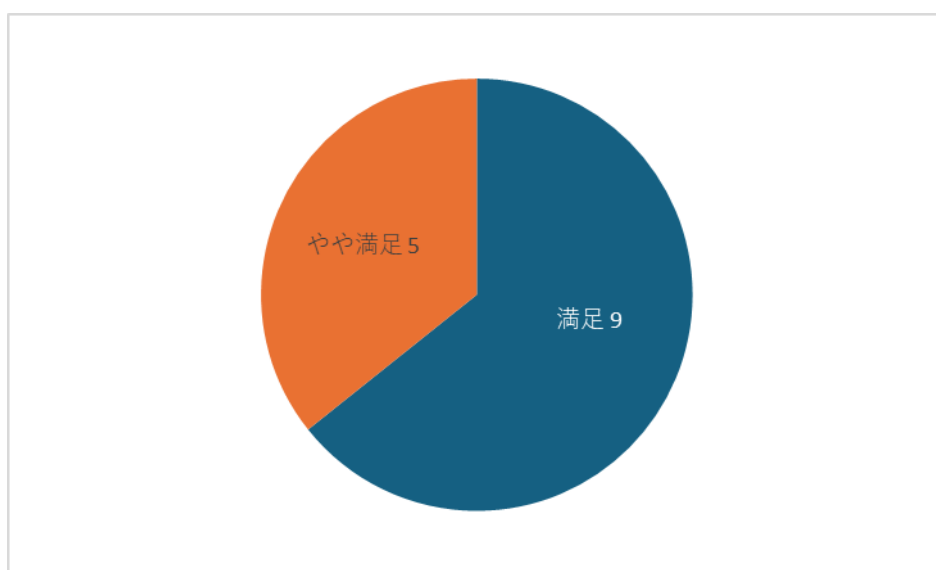
第3回「のせのセッション」アンケート集計結果のご報告

令和8年2月28日(土)に開催した「第3回のせのセッション」について、参加者の皆さまにアンケートを実施しました。

「第3回のせのセッション」にご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。当日、寄せていただいた貴重なご意見・ご感想を、今後の「のせのセッション」の参考とするため公開いたします。

参加者アンケートの意見の概要

●第3回「のせのセッション」に対する満足度



① ワーク内容・テーマに関する評価

今回のワークショップでは、これまでの第1回・第2回の議論が図書館の具体像へとつながり、「本を読むだけではない図書館」の姿が見えてきたことに対する評価が多く見られました。実現可能性にとらわれず、夢のあるアイデアを自由に出し合えたことに意義を感じる声や、楽しい図書館づくりへの期待が高まったという感想も多かったです。また、「能勢らしさ」を活かす視点や、「けやきの木」をテーマにしたデザイン案への共感も示されています。さらに、出されたデザイン案を専門家の視点で具体化してほしいという、次の段階を見据えた声も寄せられています。

② 雰囲気・進行に関する評価

進行面では、時間を区切った進め方が良かったとの評価があり、全体としてこれまでで最も柔らかく、発言しやすい雰囲気だったという声が目立ちました。ゆっくりとわかりやすく進められたことや、スタッフの適切な助言によってメンバー変更があってもスムーズに進行できた点も評価されています。また、視察後の開催であったことから、参加者自身の思いが深まり、議論が充実したと感じている様子もうかがえます。

③ 運営面の改善点

一方で、運営面ではいくつかの改善点も挙げられました。ストップウォッチの音が気になるため時間管理の方法を工夫してほしいという意見や、マイクが聞こえにくいとの指摘がありました。また、一部スタッフの進行姿勢について、発言を遮る、決めつけるように感じられる場面があったとの懸念も示されています。加えて、次回以降のスケジュールを早めに知らせてほしいという要望もありました。

④ 参加状況・広報に関する意見

参加者数が少なかったことを残念に感じる声が複数見られた一方で、少人数だった分、中身の濃い議論ができたとの評価もありました。見学参加者が多く、視察内容を共有しやすかったという側面もあります。ただし、ワークショップの楽しさや意義をどのように広く伝えるかが課題であるとの認識も示されています。

紙ベースの広報など、高齢者にも届きやすい周知方法を望む声や、参加者自身が周囲に呼びかけたいという前向きな意見も寄せられています。

⑤ 先進事例をみて、能勢町の未来の図書館で取り入れてみたいことや参考にしたいこと
スペースのつくり方（学習スペースやワークスペース、イベント等）やカフェについてのご意見が多く寄せられました。課題としては、交通手段が挙げられています。気軽に通えるためにも交通の便の整備についての要望もありました。

以下、参加いただいた皆さまのアンケートのご回答です。

● 良かった点・改善すべき点

ある程度、時間を区切って進行頂けたのは良かったと思います。
みなさんが色々な意見を持っており、それを表現（記述）できるのが素晴らしいと思いました。
1回目、2回目のワークが図書館につながり、わくわくしてきました。
夢のある話がいっぱいでした。ええ〜？と思うようなアイデアでした。楽しいですね。実現させたいですね。
「図書館」というところにつながる具体的なアイデアがたくさん知れたのが良かった点です。
実現可能性の有無は関係なく、夢のような話をひとりひとりが出し合えたのは、とても意義があると思いました。
やっと少し能勢の図書館の道筋が見えてきた。能勢らしさ（例：田植えと小学生、魚釣りとキャンプ）を絞っていけば良いと思う（能勢町の町、暮らしなど、他にないものを）。
メンバーが変わっても、スムーズにワークができて、スタッフの助言の力も大きかったし、視察後のワークショップということで、自分の中にも思いが溢れていたのかなと思います。
今までで一番柔らかくて、発言しやすくて、優しく、ゆっくりした、わかりやすいWSだなあと感じました。

<p>前回までのワークショップとちがって、今回は図書館の少し具体的な理想を出し合えたことが良かった。前回までの能勢での暮らしを考えたことが生きていたと感じました。</p>
<p>参加者が少なかったのですが、中身の濃い内容だったです。メンバーの半分以上 (3/5) が見学に行った方だったので、行っていない方に伝えやすかったです。のせのセッションの内容をどんなふうに伝えるか (この楽しさ) が課題だと思います。</p>
<p>ストップウォッチは不要かなと思いました。音が気になります。時間は限りがあるとは思うので、都度声かけするなど。</p>
<p>お話、意見等出しやすい状況になってきたと思います。 参加者が少なかったのが残念でした。</p>
<p>本を読むだけではない、図書館が見えてきました。</p>

●先進事例を見て、能勢町の未来の図書館で取り入れてみたいことや参考にしたいこと

<p>広々として、自由に座れる場所がたくさんある…というのが一番良いなと思いました。</p>
<p>やはり一番大切なのは、気軽に通えるという事だと思います。交通手段がよりよくなれば、魅力のある図書館へ足が向くのではないのでしょうか。</p>
<p>子どもの遊び場、なんでもできるワークスペース、図書館バス、大げやき型の本棚と滑り台、実現したら素敵です。</p>
<p>カフェと交通手段</p>
<p>学習スペースが充実していたり、一息つける場所 (椅子) があったり、日が良く入る場所が能勢でも取り入れられると良いなと思いました。</p>
<p>図書館の名称を先に考えるのはどうでしょう。従来の図書館のイメージが払拭できない人が多いと思います。</p>
<p>夜の図書館の発想。</p>
<p>まずは交通の便の整備が重要。 スペースの作り方や展示の仕方など、参考になったと思います。</p>
<p>上勝町ゼロウェイストセンターWHY、一人で購入できない自販機。 情報観光センターや夜の図書館 (レンタルサイクル) は、凄く素敵だなあと感じました。 亥の子も素敵。季節感 (食べ物、文化含め) も。</p>
<p>本棚は低く、静かにすべき図書館ではなく、静かにできるスペースのある図書館へ。</p>
<p>カフェなどは、もし実現させるのであれば、町内で店舗のある方が出店できるスペースにした方が良いと思います。(競合はせず、町店主を大切に)</p>
<p>交通アクセス、交通手段がいちばんのネックかと思います。「本」だけにこだわると図書館を継続することは難しいので、目玉となるイベント等も考える必要あります。</p>
<p>おしゃべりできる。カフェがある。情報ステーション、学校や企業・行政との連携。</p>

●ご感想・ご意見・ご要望

今回のワークショップで出ていたけやきの木をテーマにしたデザインというのは、とても良いなと思いました。是非、どこかに取り入れて頂きたいなと思いました。
楽しい図書館づくりのためのアイデアが多く聞けて、夢が広がった気がします。
参加者が減ったのが残念です。まわりの人にも呼び掛けるようにします。
今回も本当に楽しかったです。元気で参加したいです。本当にありがとう。
次回以降のスケジュールも決まり次第、早めにお知らせ頂けるとありがたいです。
マイクを使って頂いているのですが、毎回聞こえにくい。せっかくの発表が聞こえない。
今日は参加者が少なかったので、次回以降、たくさんの方が参加して下さればうれしいです。紙ベースの広報も、高齢者向きにお願いしたいです。
今回もありがとうございます。とても話やすい雰囲気にして下さったのはとても素敵でしたが、1人の方（会社側）が大変失礼ながら、他の従業員の方や、参加者の方の言葉をさえぎったり、決めつけたり、独壇場になってしまっている（言葉やマイクをうばったり、聞く前に場をもっていくたり…）のが、とても勿体ないと思いました。失礼なコメントすみません。他の従業員の方々は、とても優しく丁寧に発言してくださっているのに、指で指図したり、学校の担任の先生ではないので辛かったです。
Aグループで出たデザイン案を設計の方の目線で現実に近づけてもらったらうれしいです。
ありがとうございました。